

平成 21 年度西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会 報告書

技術室 電気電子情報班

原田 龍一

1. 概要

開催日 平成 21 年 8 月 26 日 ～ 8 月 28 日
主催 独立行政法人国立高等専門学校機構
担当校 高知工業高等専門学校
会場 豊橋技術科学大学 情報メディア基盤センター

2. 内容

技術課題の発表及び討議

特別講演 1 「教育研究支援業務の充実と技術職員への期待」

豊橋技術科学大学 副学長 稲垣 康善

特別講演 2 「高専教育における環境意識の重要性」

高知工業高等専門学校 校長 藤田 正憲

講義 1 「超電動技術の未来：MRI からリニアへ」

豊橋技術科学大学 教授 太田 昭男

講義 2 「見えないものを見る技術 - イメージセンサ技術の現状と将来 - 」

豊橋技術科学大学 教授 澤田 和明

施設見学 1 シンフォニア テクノロジー株式会社 豊橋製作所

施設見学 2 豊橋技術科学大学 固体機能デバイス研究施設

3. 所感

今回の研修会は電気・電子系の専門分野に関するものであった。技術課題の発表では公開講座、出前授業等に関するものが多かったが、特に興味深かったものは「鉛フリーはんだ」に関する発表であった。従来のはんだに含まれる鉛は人体に有害であり、廃棄される際には自然環境に悪影響を与える。このことから鉛フリーはんだへの切り替えが勧められているが、従来のはんだに比べ融点が高いため取り扱いが難しい。また、対応したこてを購入する必要がある等の費用的な問題により、なかなか切り替えが進まないといった実状が各高専から聞かれた。